

学校教育目標

- 進んで学習し よく考える子
- 明るく心豊かな子
- じょうぶで気力のある子

キャッチフレーズ

『人にやさしく 自分を見つめ のびのび行動しよう』

人間力向上

和顔愛語

師弟同行

啐啄同時

率先垂範

R リサーチ(児童の実態, 保護者・教師・地域の願い)

P

心づくり

- (1) 支持的風土づくり
- (2) 人権教育の充実
- (3) キャリア教育の充実
- (4) 深みのある読書活動
- (5) 生徒指導・教育相談の充実
- (6) 特別支援教育の充実
- (7) 幼小中連携教育の充実

学びづくり

- (1) 学級間をそろえ、学年をつなぐ実践
- (2) 問いのある授業づくり
- (3) 教師の資質向上
- (4) 基礎学力の定着に向けた実践

体づくり

- (1) 体力の向上を図る指導の充実
- (2) 健康教育の充実
- (3) 食育の推進
- (4) 安全防災教育の充実
- (5) 家庭・地域連携の推進

学校評価(児童・家庭・教師・地域・評議員)

D

C

A

①学級経営の充実

- ・iCheckの実施・活用
- ・学級づくり研修の実施
- ・清掃、給食指導の充実
- ・聴く態度の育成

②自己肯定感を高める

- ・道徳教育の充実
- ・個々の目標の掲示
- ・体験活動の実施

③人権教育の充実

- ・平和、人権、情報教育などの講演会の実施

④キャリア教育の充実

- ・職場体験の実施
- ・中高校生の職場体験の受け入れ
- ・地域人材の活用

⑤深みのある読書活動

- ・朝の読書活動や読み聞かせの実施
- ・読書月間の実施
- ・図書館の有効活用
- ・公共図書館の利用奨励

⑥生徒指導・教育相談の充実

- ・定期的なアンケートの実施(月1回)
- ・教育相談週間の実施(年2回)
- ・子ども理解全体会の実施(月1回)
- ・関係機関との連携

⑦特別支援教育の充実

- ・校内特別支援委員会を運営し、適切な支援を推進する。
- ・個々に対応するケース会議の実施
- ・家庭や外部機関との連携

①「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践

- ・学力向上推進プロジェクトへの取組
- ・「問い」が生まれる授業サポートガイドの活用
- ・授業改善リーダーを中心とした授業づくり
- ・「ぎのわんスタンダード」をもとにした「普二小授業スタンダード」の実践

②教師の資質向上

- ・校内研修の充実
- ・日常的に互いの授業を見合う、雰囲気づくり
- ・校内OJT(スキルアップ研修)の実施

③基礎学力向上7強化策の実施

- ・パワーアップタイム(月・火・木・金)
- ・ドリルタイム(水・朝)
- ・普二タイム(4月・6年生対象)
- ・チャレンジディ(9月)
- ・家庭学習強化週間(6月・10月)
- ・基礎学力強化期間(2学期)
- ・学年のたすき期間(3学期)

④学習環境の整備

- ・掲示教育の充実

⑤授業と家庭学習の連動

- ・「家庭学習のてびき」をもとにした家庭学習の推奨

①体力を高める実践

- ・新体力テストの実施・活用
- ・体育に関する指導の工夫・改善
- ・なわとびの奨励
- ・皆泳指導員の活用
- ・持久走大会の実施

②日常的な体力づくり

- ・清掃活動(ぞうきんがけ)
- ・徒歩登校の奨励

③保健指導の充実

- ・養護教諭を生かした保健指導
- ・学校保健委員会の実施

④食育指導の充実

- ・栄養士を活用した食育指導

⑤副読本の活用

- ・「ちゃーがんじゅう」「くわつちーさびら」の活用

⑥危機管理能力の育成

- ・危険予知能力の育成
- ・危険回避能力の育成
- ・避難訓練の実施
- ・安全対策チームの設置

⑦家庭・地域連携の推進

- ・やーなれー運動の奨励
- ・早寝、早起き、朝ごはん運動の奨励推進
- ・地域、子ども会との連携

普中校区幼小中連携

- 共通実践4項目(あいさつ・言葉遣い・聴く態度・整理整頓)

中頭指導行政「個が学び共に育つ」中頭教育の創造

宜野湾市学校教育「間をそろえる・つなぐ教育の推進」